

[25] ペルフルオロヘキサンスルホン酸 (PFHxS) ・大気(単位：pg/m<sup>3</sup>)

調査年度：2024

検出頻度（地点ベース）：35/35(欠測等：0)

検出頻度（検体ベース）：35/35(欠測等：0)

検出下限値：0.2

定量下限値：0.5

集計値	
幾何平均値	2.4
中央値	2.2
最大値	6.1
最小値	0.7

地方公共団体	地点番号	調査地点	採取日	測定値	サンプラー
北海道	1	北海道渡島総合振興局（函館市）	12/17～12/24	4.9	MV
札幌市	2	札幌芸術の森（札幌市）	10/22～10/23	1.4	HV
			10/23～10/24		
			10/24～10/25		
岩手県	3	巣子一般環境大気測定局（滝沢市）	9/17～9/18	1.7	HV
			9/18～9/19		
			9/19～9/20		
宮城県	4	宮城県保健環境センター（仙台市）	12/17～12/24	4.8	MV
山形県	5	山形県環境科学研究センター（村山市）	9/30～10/7	2.2	MV
茨城県	6	茨城県霞ヶ浦環境科学センター（土浦市）	10/22～10/29	3.2	MV
東京都	7	東京都環境科学研究所（江東区）	12/10～12/17	3.5	MV
	8	小笠原父島（小笠原村）	11/8～11/15	5.4	MV
神奈川県	9	神奈川県環境科学センター（平塚市）	9/9～9/10	2.7	HV
			9/10～9/11		
			9/11～9/12		
横浜市	10	横浜市環境科学研究所（横浜市）	1/14～1/21	4.3	MV
新潟県	11	大山一般環境大気測定局（新潟市）	12/16～12/17	1.1	HV
			12/17～12/18		
			12/18～12/19		
富山県	12	砺波一般環境大気測定局（砺波市）	9/24～9/25	1.1	HV
			9/25～9/26		
			9/26～9/27		
石川県	13	石川県保健環境センター（金沢市）	9/9～9/10	1.7	HV
			9/10～9/11		
			9/11～9/12		
山梨県	14	山梨県衛生環境研究所（甲府市）	11/18～11/19	1.1	HV
			11/19～11/20		
			11/20～11/21		
長野県	15	長野県環境保全研究所（長野市）	10/15～10/22	5.4	MV
岐阜県	16	岐阜県保健環境研究所（各務原市）	11/25～11/26	1.6	HV
			11/26～11/27		
			11/27～11/28		
名古屋市	17	千種区平和公園（名古屋市）	10/15～10/22	4.0	MV
三重県	18	三重県保健環境研究所（四日市市）	10/28～10/29	0.7	HV
			10/29～10/30		
			10/30～10/31		
京都府	19	京都府立城陽高等学校（城陽市）	11/5～11/6	1.3	HV
			11/6～11/7		
			11/7～11/8		
大阪府	20	大阪合同庁舎2号館別館（大阪市）	10/8～10/9	1.6	HV
			10/9～10/10		
			10/10～10/11		

地方公共団体	地点番号	調査地点	採取日	測定値	サンプラー
兵庫県	21	兵庫県環境研究センター（神戸市）	12/9～12/10	1.4	HV
			12/10～12/11		
			12/11～12/12		
神戸市	22	神戸市健康科学研究所（神戸市）	11/26～11/27	1.4	HV
			11/27～11/28		
			11/28～11/29		
奈良県	23	天理一般環境大気測定局（天理市）	12/9～12/10	1.4	HV
			12/10～12/11		
			12/11～12/12		
島根県	24	国設隠岐酸性雨測定所（隠岐の島町）	11/12～11/13	1.1	HV
			11/13～11/14		
			11/14～11/15		
広島市	25	広島市立国泰寺中学校（広島市）	10/29～10/30	1.5	HV
			10/30～10/31		
			10/31～11/1		
山口県	26	山口県環境保健センター（山口市）	11/26～12/3	5.4	MV
	27	萩健康福祉センター（萩市）	11/26～12/3	6.1	MV
徳島県	28	徳島県立保健製薬環境センター（徳島市）	10/28～10/29	2.2	HV
			10/29～10/30		
			10/30～10/31		
香川県	29	香川県環境保健研究センター（高松市）	10/15～10/22	5.4	MV
愛媛県	30	愛媛県南予地方局（宇和島市）	9/30～10/1	1.8	HV
			10/1～10/2		
			10/2～10/3		
佐賀県	31	佐賀県環境センター（佐賀市）	10/8～10/15	5.4	MV
熊本県	32	熊本県保健環境科学研究所（宇土市）	12/9～12/10	0.8	HV
			12/10～12/11		
			12/11～12/12		
宮崎県	33	宮崎県衛生環境研究所（宮崎市）	10/15～10/22	5.5	MV
鹿児島県	34	鹿児島県環境保健センター（鹿児島市）	10/28～10/29	3.8	HV
			10/29～10/30		
			10/30～10/31		
沖縄県	35	辺戸岬（国頭村）	9/23～9/24	3.6	HV
			9/24～9/25		
			9/25～9/26		

(注1) 「検出頻度（地点ベース）」とは検出地点数/調査地点数（欠則等は除く）を、「検出頻度（検体ベース）」とは検出検体数/調査検体数（欠則等は除く）をそれぞれ意味する。

(注2) 検出下限値以上を検出とした。

(注3) 「HV」はハイボリュームエアサンプラー、「MV」はミドルボリュームエアサンプラーにより採取されたことを意味する。

(注4) 同一地点・同一時刻にこの2種類のサンプラーで採取した試料の濃度を比較したところ、ミドルボリュームエアサンプラーで採取された試料の濃度が、ハイボリュームエアサンプラーで採取された試料の濃度に対して3.5倍前後であった。

この原因として、ペルフルオロヘキサンスルホン酸（PFHxS）とともに採取された前駆物質の一部が試料採取中にペルフルオロヘキサンスルホン酸（PFHxS）へと変化し、試料採取時間が長いミドルボリュームエアサンプラーでより多くの前駆物質が変化したことが想定されるが、科学的な根拠をもって究明するには至っていない。